

学校だより

第1号

静けき海の心

高中訓：心うごかそう～考える・感じる・協働する高中生～めざす生徒像

- 健康や安全を意識して生活する生徒
- 自分や周りの人のことを考え行動する生徒
- 進んで学習に取り組む生徒

平成31年度が始まりました

4月4日、302名の新入生を迎え、平成31年度の入学式・始業式を行いました。今年度は春先の冷え込みもあり、桜の花がほぼ満開の様子でこの日を迎えることができました。

私は、校長として三年目を迎えました岡本竜生^{たつお}と申します。どうぞよろしくお願いいたします。今年度も学校だよりの題字は校歌の一節からいただきました「静けき海の心」です。高浜中学校の伝統である「表面は穏やかでも内にみなぎる力を秘めた静けき海の心」は健在です。今後とも、保護者や地域の皆様の温かいご支援をいただきながら、伝統あるこの高浜中学校をさらに活気のある学校に高めていきたいと考えています。引き続き高浜中学校の教育活動に対するご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

入学式・始業式において、式辞として次のような話をしました。



新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今日から、皆さんは、高浜中学校の1年生、中学校生活の第一歩を踏み出しました。中学校は、たくさんの体験をし、たくさんのことを学び、心を磨いて、自立に向けて、成長するところです。そして、心を磨くために、次のことを心がけてください。

まずは「健康」です。多少のことにはへこたれず、強いからだをつくりましょう。

つぎに「豊かな心」です。自分の責任を果たせる強さと同時に、人の苦しみや悲しみを理解する温かい心を育てましょう。

そして「自ら学ぶ姿勢」です。人生においてものごとを吸収する力が一番あるこの時期に、授業に真剣に取り組み、教養を身につけましょう。

あせる必要はありません。ここにいる先生たちと一緒にがんばっていきましょう。

さて、本日は始業式も兼ねています。2、3年生の皆さん、新入生が希望を胸に抱き、大きな期待をもって、この高浜中学校へ入学してきました。でも、心の中は不安でいっぱいです。皆さんにもこのときがあったのです。どうか新入生のよき相談相手として、やさしく接し、先輩としてのよきお手本を示してあげてください。授業に、行事に、部活動に本気で取り組む姿がそのままお手本となります。

先日、五月一日から使われる新しい元号「令和」が発表されました。それについて、京都大学の山中伸弥教授は「初めて日本の古典から選ばれた。まさに、伝統を重んじると同時に新しいものにチャレンジしていく、日本のこれからの姿にぴったりの元号」と話されました。私には、高浜中学校の伝統を重んじると共にチャレンジ精神でどんどん成長していく皆さんの姿が思い浮かびました。

さあ、新しい一年を始めましょう。主人公はもちろん皆さん自身です。そして、私たちは皆さんの応援団です。ともに歩んでいきましょう。

離任式で懐かしい先生方からお話をいただきました

本年度、11名の教職員が異動並びに退職をしました。4月12日（金）離任式ではお世話になった先生それぞれから、次のようなお言葉がありました。

- 杉浦 利幸先生 母校で退職できることを幸せに思います。トータルで9年間お世話になりました。この4月からは高浜小学校で日本語指導をしています。60歳になってまた新しい仕事を始められることを大変うれしく思っています。中学生はいろいろなことを吸収する重要な時期です。たくさんのことに挑戦し立派な人格を築いてください。
- 細井かおる先生 高浜小学校の2年生の担任をしています。高浜小学校は新しくきれいです。高浜中学校は新しくありませんが、皆さんが一生懸命に掃除をするのできれいです。これからもきれいな校舎、きれいな心を保ってください。また、自分で考えて良い道を選んでいくことを続けていってほしいと思います。
- 工 ゆみ先生 高浜小学校の6年生の担任をしています。中学校では音楽の授業をしていましたが、小学校では音楽の授業はしていません。卒業式の歌声を思い出します。あの歌声は誇りに思っていると思います。皆さんの歌声が高浜小学校まで響いてこないかなと期待しています。吹奏楽部の皆さん、小中音楽会などで会うと思います。素敵な演奏を楽しみにしています。
- 吉井真由美先生 4年間日本語指導を担当しました。今は南中学校の1年生の担任をしています。今、皆さんがしていること、それが皆さんの未来の自分をつくるということを伝えたいです。できることを一生懸命に続けていくこと、それが必ず将来につながります。しかし、人はいつも強くいられないから、困ったときや悩んだときは、その気持ちを信頼できる人に伝えてほしいと思います。
- 新美奈緒子先生 岡崎の愛知教育大学附属特別支援学校で働いています。離れてみると高中生のあいさつのすばらしさがよく分かりました。交通立哨をしながらあいさつをしています。一般の人からはなかなかあいさつが返ってきません。普通にあいさつが交わされていた高浜中学校は素敵だなと感じました。これからもあいさつのできる高中生であり続けてください。
- 三浦 えり先生 3年生の皆さんとは掃除を一緒にしました。自ら気付いて掃除できる生徒が多いので、とてもすばらしいなと思っていました。これからも後輩の手本となるような行動をしてほしいと思います。311, 312, 313の皆さん、授業や行事でたくさんの時間を一緒に過ごしました。これからも友達や家族や先生を大切に、楽しい中学校生活を送ってください。
- 伊藤 広昂先生 一年間お世話になりました。今は南中学校の2年生の担任をしています。高中生は話を聞くときに、話し手の方に体を向けてしっかりと聞けるところがすばらしいと思います。高浜中では男子バレーボール部を担当し、みんなが自分から練習に打ち込むところに感心していました。南中ではサッカー部を担当しています。のびのびと運動し、のびのびと学んで、いい中学校生活を送ってください。
- 神山 智也先生 大府市の北山小学校で3年生の担任をしています。今、改めて皆さんの聞く姿勢を見ると、高中生の行儀の良さに感心します。こういうことも高浜中の伝統なんだと思います。皆さんに伝えたいことは、ぜひ目標を見つけてくださいということです。特に3年生は受験生として努力を続けてください。遠くからですが応援しています。
- 深瀬 琴美先生 皆さんと一緒に体育の授業をすることができて幸せだったなと思います。毎日、高中に来るのが楽しみでしたし、授業をするのも本当に楽しみでした。今は、岡崎市の矢作北中学校で保健体育を教えています。先日イチロー選手が引退しました。夢をもって、目標をもっていたので45歳まで現役でいられたのだと思います。剣道部の皆さん、西三大会で会えることを楽しみにしています。

西村吉充先生と村松友未先生はご都合により欠席されました。高中生の活躍を期待していますというメッセージをいただきました。

高中訓 “心うごかそう ～考える・感じる・協働する高中生～”

新年度が始まり、二週間が過ぎました。朝の元気のよいあいさつ、自問清掃で自分と向き合う姿、チャイムとともに始めのあいさつの声が聞こえる授業など、高浜中学校のよき習慣が引き継がれ、落ち着いたスタートを切ることができました。

本年度も引き続き、“心うごかそう～考える・感じる・協働する高中生～”を高中訓として掲げました。授業で、行事で、部活動で、自問清掃で、その他日常生活も含めてあらゆる場面で、心が動く体験を積み重ねて心を豊かにし、そして感性を磨き、有意義な日々を過ごしてほしいと思います。そのことが、生徒それぞれが主人公である「自分自身の物語」をつむいでいくことになると思っています。今後とも温かいご支援をよろしくお願いします。